

2026年もテーマは「Thanks Earth!」

パルシステムの 環境・エネルギー政策への

アクション!

2026年度の環境活動は「Thanks Earth!～地球のために今できるアクション」がテーマ。

地球温暖化を防いで、生物多様性を守っていく「ネイチャーポジティブ宣言」を
発表した2025年に引き続き、みんなで地球への感謝を行動で表していきます。

私たちの身近なアクションも、地球全体を支える大きなつながりの一部。
地球への「ありがとう」をいっしょに行動してみませんか?

参加できる
楽しい企画も
たくさん!

パルシステムの
サステナビリティ
サイトはこちらから



もっといい明日へ
超えてく

商品を注文して
自然保護活動に貢献!

くらしのなかで水環境を守る身近なアクション 「石けん生活」を推進中!

me・gu・ru [めぐる]シリーズのハンドソープ・ボディソープ・歯みがき粉の年間供給額の一部を(公財)日本自然保護協会の「すべてのこどもに自然を!プロジェクト」に寄付し役立てます。石けんを使うことが、子どもたちの未来や自然保護活動につながります。



※詰め替え用も対象です。

水から
地球環境を
考えてみよう!

今だからみんなで考えよう エネルギー未来 アクションサイト

「エネルギーを大切に、地球にやさしく使うために一人ひとりができることはなんだろう。」そんな想いから生まれたのが、このサイト。クイズやアンケートに参加したり、あなたの取り組みを投稿して、みんなとシェアすることもできます。参加して、地球にやさしいエネルギーの使い方をいっしょに考えてみませんか?



会場&オンライン開催

8月1日開催!

「宇宙から見ればボーダレス ～いのちめぐる緑と水の惑星(ほし)～」

宇宙を知るゲストとともに、かけがえのない「自然資源」について考えます。林公代さんを交えて織りなす、まさに宇宙規模のトークをお楽しみください。

ゲスト 土井隆雄さん(宇宙飛行士)、安彦良和さん(アニメーター、漫画家)、林公代さん(フリーライター)

申込方法 二次元コードを読み取り、ご案内用サイトをご覧ください。



ヒントは紙面の中に

クイズに答えて応募すると
抽選で20名に

プレゼントが
当たる!



クイズに答えて応募された方の中から抽選で20名に『無茶々園のストレートジュースセット』をプレゼント!

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

Q1 2026年度、新たに「お料理セットの●●」がリユース・リサイクル品になりました。それは何でしょうか。
① 深型紙製トレイ ② プラスチックトレイ ③ 調味料包材

Q2 ネイチャーポジティブとは、生物多様性の損失を止め、●●を回復軌道にのせること。●●は何でしょう。
① 温暖化 ② 自然 ③ 人生

Q3 「みんなでライトダウンキャンペーン」で、ソーラーランタンを贈ったのはどの国でしょうか。
① フィリピン ② エチオピア ③ ブラジル

応募方法

二次元コードを読み取ると応募フォームにつながります。そちらよりご回答ください。



二次元コードのフォームで応募できない場合は、下記メールアドレスにて応募ください。
件名に「パルシステム6月4回チラシクイズプレゼント申込」と記入のうえ、全クイズの解答番号、組合員番号、組合員登録氏名、登録電話番号を記載してください。

送信先 kankyousitu@pal.or.jp

応募期間 7月5日(日)まで



Thanks Earth!

2025年度はどんな

脱炭素へのアクション!

省エネする、再生可能エネルギーを使う、できることから始める。

2026年も実施!

総アクション12,316件! みんなでライトダウンキャンペーン

2025年12月から2026年1月、特設WEBサイトで照明の節電行動を呼びかけました。家庭でのライトダウンアクションを表明するボタンのクリックや写真・コメントの投稿を呼びかけ、アクション数に応じてNPO 法人アドラ・ジャパンへ137,830円の寄付を実施。寄付金でエチオピアの電気がない地域にソーラーランタンを届けました。

組合員の声

明かりをつけて本を読み、勉強できる喜びが、1人でも多く広がるといいです

組合員の声

意外と影響なく節電できます



農地の上に太陽光パネル?

「ソーラーシェアリング」トークイベント開催

2026年3月、東京電力福島第一原発事故から15年を迎え、エネルギーと農業の関わりを考えるトークイベントを開催しました。福島でソーラーシェアリング*を実践する株式会社ジェイラップの伊藤大輔代表、映画「陽なたのファーマーズ フクシマと希望」の小原浩靖監督、原子力資料情報室の川崎彩子さんが登壇。それぞれの立場からエネルギー問題に対してできることを話し合いました。

*農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業と発電を同時に行う取り組み。



循環型社会へのアクション!

限りある資源を大切に。

2026年も実施!

わたしにもいいこと!

「戻す」でポイントがもらえる

牛乳パックなどのリサイクル資源やリユースびんなどを返却すると、パルシステムポイントが1週につき1ポイント付与されます。対象アイテムを返却時に、毎回、「注文番号 135097、数量1」を記入するだけ。

参加方法

6ケタ注文番号

135097

いざGO クリーンな未来へ

いっしょにリサイクルについて考えよう 「ごみにまつわるお金のこと ごみの学校の寺井さんに聞いてみよう!

2025年10月、ごみの処理や再資源化にかかるお金について考えるイベントを開催しました。株式会社ごみの学校代表の寺井正幸さんとともに日々の業務でごみの回収や分別、環境問題と向き合う職員も登壇。クイズも交えながらごみ問題の課題や今後について理解を深めました。

各地域での取り組み

パルシステム東京 脱炭素社会 「間伐材を使用したEVトラック導入」

グループ全体のEVトラック
20台突破!

2025年11月、江東センターに納車された「いすゞエルフmio EV」の荷台床材に、産直産地である南都留森林組合の間伐材を使用しました。EVトラックによる脱炭素化と地域産材の有効活用を組み合わせ、CO2削減と森林保全、地域経済活性化を同時に実現する持続可能な取り組みです。



パルシステム新潟ときめき 脱炭素社会 「パルシステムでんきってなあに?」

パルシステム電力を講師に迎え、再生可能エネルギーの仕組みや発電方法、産地などの理解を深めるイベントを開催。エネルギー問題のリスクについても意見交換を行いました。参加者からは「発電の仕組みや課題を多角的に知ることができ、電気を考えるよききっかけになった」との声が寄せられ、好評でした。



パルシステム群馬 脱炭素社会 「新・渋川センター開所(ソーラーパネル等)」

2025年6月に40年以上使用していたセンターに別れを告げ、新センターが稼働しました。屋上には自家消費用の太陽光パネルを設置し、屋上緑化や省エネ制御、全照明LED、群馬県産木材のサインボードなど、環境配慮の仕様になっています。



パルシステムでんき 脱炭素社会 「～みんなでつくろう!考えよう!再エネ発電所～」

夏休みを利用して未来のエネルギーについて親子でいっしょにアイデアを考え、イメージしたことを形にした「私だけの再エネ発電所」を募集しました。自分の力や自然の力を活用し、電気を作る、多くの作品が集まりました。

夏休みを利用して未来のエネルギーについて親子でいっしょにアイデアを考え、イメージしたことを形にした「私だけの再エネ発電所」を募集しました。自分の力や自然の力を活用し、電気を作る、多くの作品が集まりました。

パルシステム埼玉 循環型社会 「洗びん工場を見に行こう!!」

2025年11月、株式会社トベ商事の洗びん工場で洗びん工程からUV灯での滅菌、びんを反転して乾燥させるラインを見学。その後、現在のリサイクルの状況やプラスチック事情の説明を受け、改めてリユースびんの推進の必要性を学ぶ機会になりました。



アクションに取り組んだ？



自然共生社会への アクション!

【森・里・川・海保全】

気候変動や人間活動の影響で、急速に失われている生物多様性。だから、パルシステムではネイチャーポジティブをすすめます。

2026年も実施!

3つの社会で、自然を回復軌道へ! 「パルシステム ネイチャーポジティブ 宣言」を発表

動画で産地と生きものを見てみよう



ネイチャーポジティブとは、生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道にのせること。これまで産直などで生産者とともに実施してきた活動を、地球活動全体のつながりとしてさらに発展させます。私たちのくらしのなかでもできることに取り組んで、生態系の回復をめざしましょう。

生物多様性の指標



くらしの工夫で
自然を取り戻し、増やそう!

環境配慮商品を買う

食べ残しを減らす

石けんを使う

3Rに取り組む

2020

2030

2050

今こそ私たちの出番! 大人だからこそ考える、 動物たちとの共生

2026年2月、よこはま動物園ズーラシアにて、園長の村田浩一さんとホッキョクグマの飼育員・伊藤咲良さんとともに、気候変動や環境破壊にさらされている動物たちについて学び、人と動物がくらす地球環境を守るためにできることを考えました。



パルシステム静岡 循環型社会

「大人の社会見学 ～パルの箱なしティッシュでおなじみ、コアレックスさんで工場見学」

2025年9月に工場見学を開催。組合員から回収している紙パックがどう生まれ変わるのか説明していただきました。工場は清潔感があり、組合員も驚いていました。



パルシステム山梨 長野 循環型社会

「野菜のおだしベジブロス ～キッチンから食品ロスを考える」



2025年10月に食品ロス削減の取り組みとして、野菜くずから「だし」をとる「ベジブロス」のイベントを開催。ベジブロスの栄養や、野菜の保存方法について学んだあと、ベジブロスを使った料理5品を作り、食品ロスを参加者に身近なキッチンから考えてもらいました。

パルシステム茨城 栃木 自然共生社会

水辺の観察会「^{ひぬま} 潤沼の生き物観察会」

2025年7月に組合員50名が参加し、汽水湖である潤沼の生き物観察会を実施。茨城県環境アドバイザーの先生に潤沼の独特な自然環境や生態系のお話を聞き、川に入って採取した水生生物の名前や特徴を解説していただきました。



パルシステム福島 自然共生社会

「お天気教室」



気象予報士を講師に迎え、雪の結晶づくりをはじめとする各種実験を実施。参加した子どもたちは、体験学習を通じて天気や自然現象への理解と興味を深めることができました。2011年の震災を契機に気象予報士のみなさんが毎年ボランティアで子どもたちを楽しませてくださっています。

パルシステム千葉 自然共生社会

「千葉県産の木で自分だけのおはしを作ってみよう!」

夏休みの子も企画に小学生7名が参加しました。千葉県木育コーディネーター協会の講師から、山武市の森林や木の役割、杉の特徴を学んだ後、箸作りに取り組みました。木に触れる機会が少なくなった現在、大変貴重な企画となりました。



パルシステム神奈川 自然共生社会

「パルかな石けん部」



学習会「プロに学ぶ! 石けん洗濯術」開催後に立ち上げたオープンチャット「パルかな石けん部」。講師の茂木孝夫さんも参加して、石けん洗濯のお悩み相談や情報交換を行いました。オフ会では、自宅の水道水に粉石けんを溶かして「石けんカス」見える化。水の硬度による違いを実感しました。

ひと目でわかる! リユース・リサイクルリスト

2026
保存版

戻し方の注意点は
こちらから



リユース・リサイクルは地球へのありがとう。
パルシステムでは、ひもなどでまとめず通い箱に入れて戻すだけ。
「これは回収できる?」と迷ったときに便利なリストです。



深型トレーは
6月1回から!



深型紙製トレー



紙製トレー

「お料理セット」 深型紙製トレー・紙製トレー

中身は出して、そのまま。
プラスチック製だった深型トレーが紙製になったことで、
年間約4トン*のプラスチック削減効果が見込まれます!
回収後は、『リ・さいくりんぐトイレットペーパー』の
原料になります。

*24年度の受注実績(廃番は除く)より試算



リユースびん

水ですすぎ、キャップと
透明フィルムをはずして。



紙パック・ ABパック

洗って、開いて、
乾かして。



ヨーグルト カップ

洗って、開いて、
乾かして。



たまごパック

たたんでそのまま、
汚れたところは切り取って。



『富士の天然水 (ラベルなしPET)』 ボトル

キャップをはずして乾かし、
軽くつぶして。

*パルシステム東京では取り扱っていません。



カタログ・ 商品まとめ袋

中身は出して、そのまま。



米袋

中身は米粒を残さず
空にして、そのまま。



「地球の未来に まじめな ボディソープ」の 紙パック

洗って、開いて、乾かして。



商品カタログ・ チラシ類

袋から出してそのまま。



トマトと いちごの 外箱

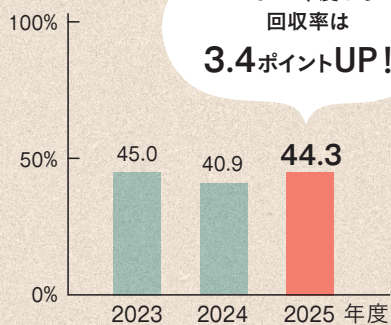
たたんでそのまま。

2025年度はどうだった?

リユース・リサイクル 回収状況

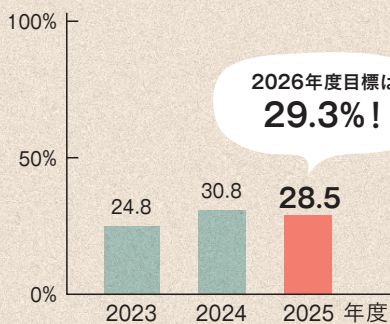
みんなでリユース・リサイクル
回収率を上げていきましょう!

米袋



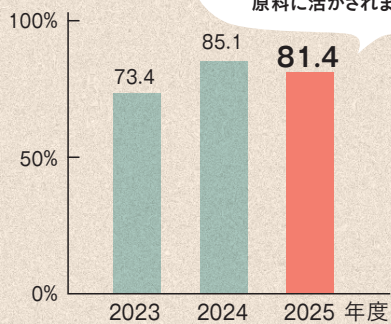
2024年度から
回収率は
3.4ポイントUP!!

カタログ・商品まとめ袋



2026年度目標は
29.3%!

たまごパック



みなさんから届いたパックは
新しいたまごパックの
原料に活かされます。

食とくらしを楽しむコミュニティ
パルモ!
pal-system

コミュニティサイト『パルモ!』で
サステナブルを
テーマにした
投稿キャンペーンを
実施中!

6/30(火)まで 詳しくはこちら

投稿すると
3ポイント!
抽選でプレゼントも



動画でわかる

戻した牛乳パックが トイレットペーパーに!

みなさんのご家庭から戻ってきたリサイクル品は、
再び新たな商品に生まれ変わります。

回収した牛乳パックの行方を追った動画は
【公式】パルシステム東京チャンネルから

